ハイコストパフォーマンスのGlobal Research Service

DRI Platformのご案内

（Do Research Institute Global Platform）

“DRI Platform”は、高度なパフォーマンスを求めながら、
グローバルリサーチのコストと時間の削減を追求します。

- ✓ 海外経験と科学的アプローチで海外調査のプロが調査を設計します
- ✓ データベースから現地の情報をできる限り把握し精度を高めます
- ✓ ITを活用してスピーディーかつ低コストでデータを収集します
- ✓ 分析データ（エビデンス）に基づいて課題解決策をご提案します
- ✓ アクション実施後の効果測定までをカバーします

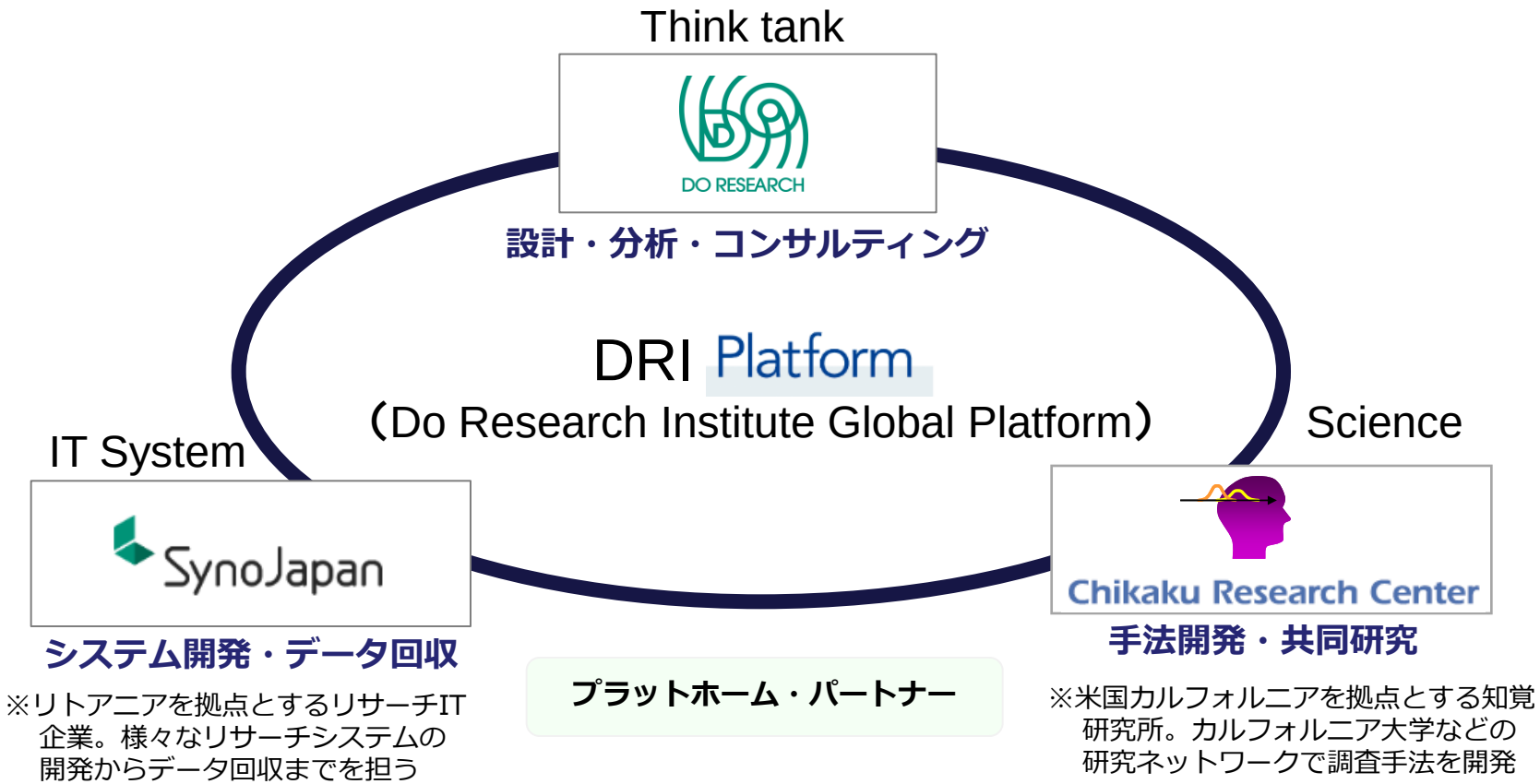
DO RESEARCH

Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

DRI Platform（Do Research Institute Global Platform）とは

Think × IT × Science

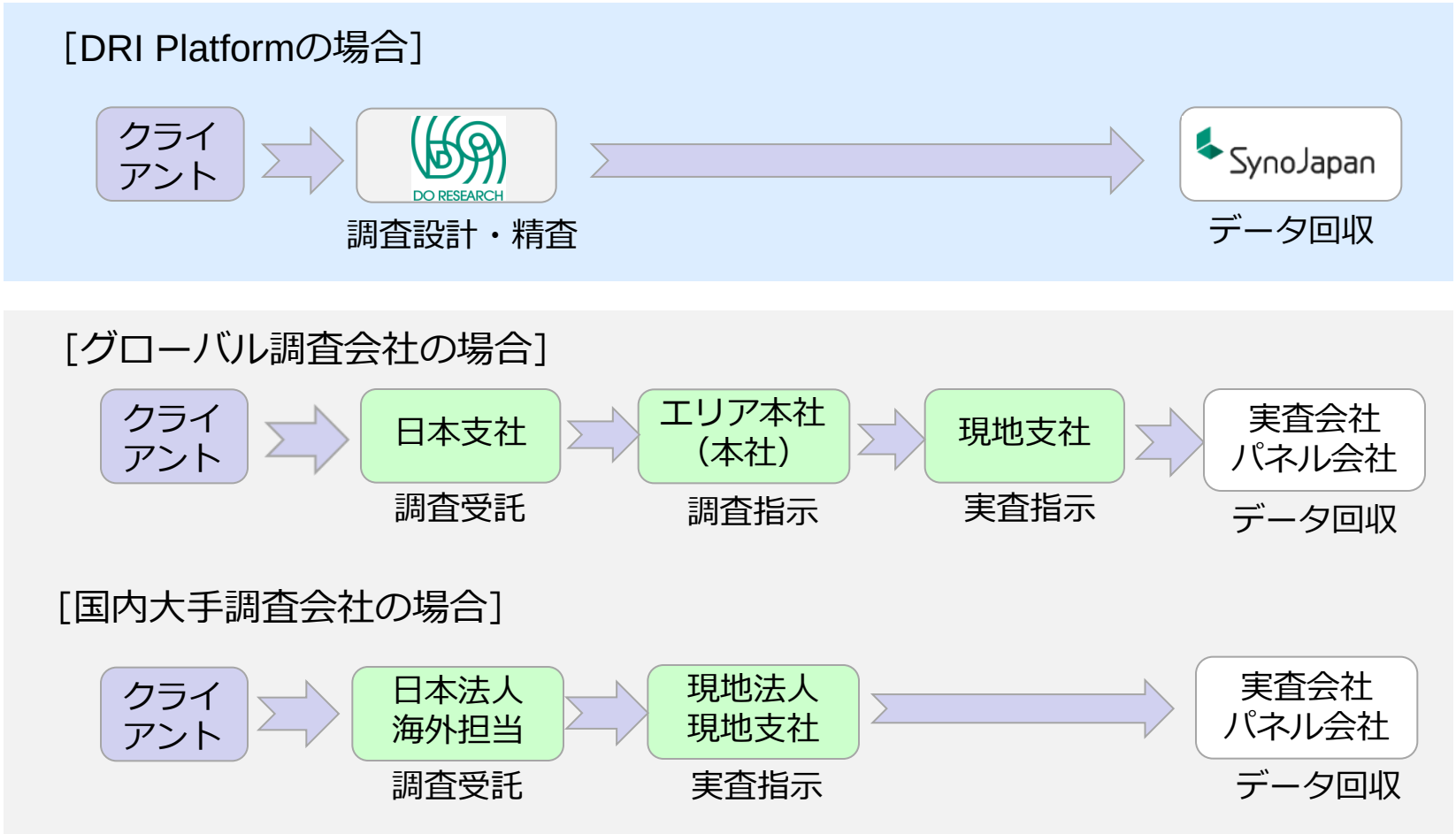
Think tankであるドウリサーチ研究所と、データ回収専門のIT企業のSyno、調査手法を開発するChikaku Research Centerがパートナーとなり、グローバルリサーチを請け負います。



Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

コストと時間の削減

調査設計からデータ回収までのプロセスをシンプルにすることで、国内外の調査会社よりもコストと時間の削減を実現しました。



Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

世界中の調査パネルとリンク

世界80カ国以上、５千万人の調査パネルに対して、調査票を素早く翻訳し、データを回収します。

Algeria	El Salvador	Lithuania	Serbia
Argentina	Estonia	Malaysia	Singapore
Australia	Finland	Mexico	Slovakia
Austria	France	Moldova	Slovenia
Bangladesh	Germany	Morocco	South Africa
Belarus	Ghana	Myanmar	South Korea
Belgium	Greece	Netherlands	Spain
Bolivia	Guatemala	New Zealand	Sri Lanka
Bosnia and Herzegovina	Honduras	Nicaragua	Sweden
Brazil	Hong Kong	Nigeria	Switzerland
Bulgaria	Hungary	Norway	Taiwan
Canada	Iceland	Pakistan	Thailand
Chile	India	Panama	Tunisia
China	Indonesia	Paraguay	Turkey
Colombia	Ireland	Peru	UK
Costa Rica	Israel	Philippines	Ukraine
Croatia	Italy	Poland	United Arab Emirates
Czech Republic	Ivory Coast	Portugal	Uruguay
Denmark	Japan	Puerto Rico	USA
Dominican Republic	Kazakhstan	Romania	Venezuela
Ecuador	Kenya	Russia	Vietnam
Egypt	Latvia	Saudi Arabia	Zambia

調査可能国	全世界のパネル数
80カ国以上	50,000,000以上

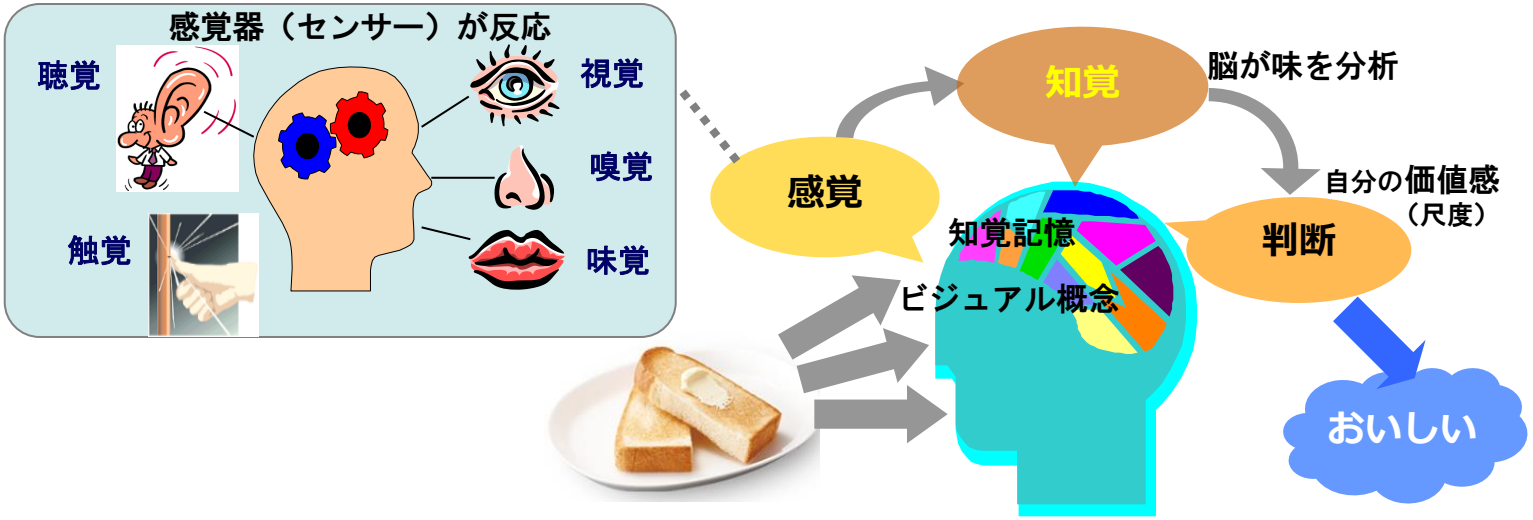
［色塗りされた国をカバー］

・EU においてGeneral Data Protection Regulation 2016/679 (hereinafter – GDPR) を取得。(諸外国の個人情報保護関連法を順守)

Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

調査モデルを科学的にサポート

調査課題に対して最適な調査モデルを提案、調査モデルがない場合は調査手法をChikaku Research Center(知覚総合研究所／米国カルフォルニア州)で開発します。提案や開発は知覚科学（センソリーサイエンス）をベースに行います。



知覚科学（センソリーサイエンス）について

日本語訳では知覚評価学とも呼ばれ、米国とフランスでの研究や企業活用が先進している。人間の脳の評価構造から適切な評価方法を研究する科学で、カルフォルニア大学が世界的に有名。日本にも官能評価学会等があるが科学的なバックグランドはなく、日本においては大学を含め知覚評価学の研究基盤は弱い。日本の大手食品メーカーが、海外での市場研究や製品開発に導入し成果をあげはじめている。

Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

グローバル調査のポイント

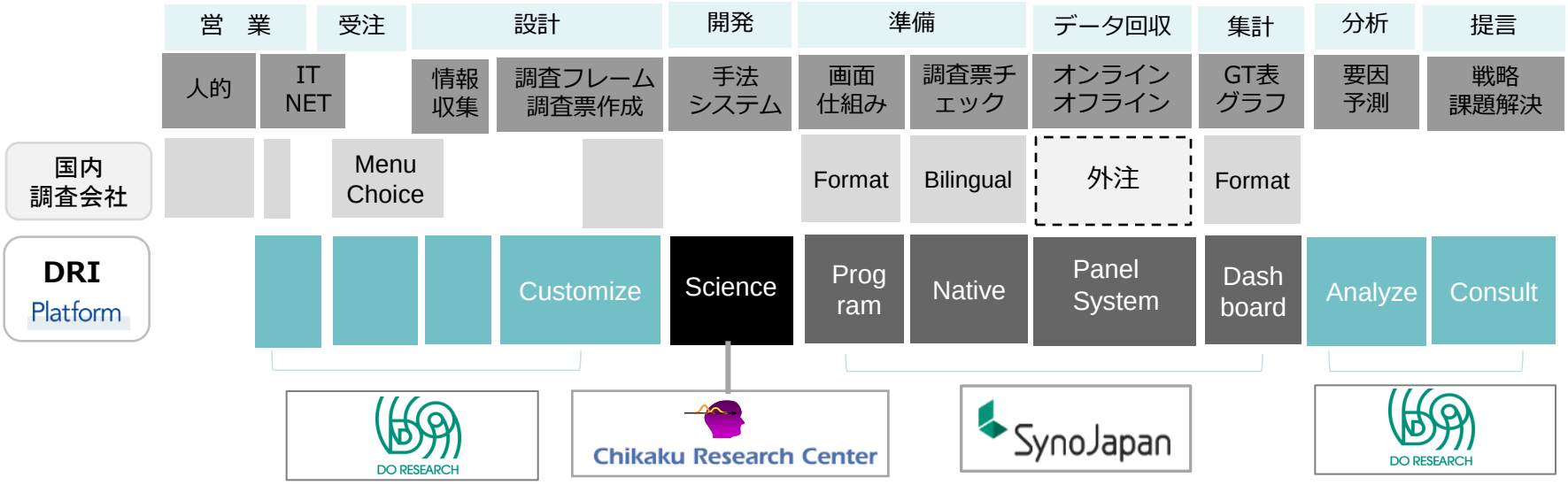
グローバル調査のポイントは調査設計とITテクノロジー活用

■海外での豊富な調査経験と専門知識で調査を設計

・調査に関する科学（センソリーサイエンス）の活用
・グローバル調査会社・研究機関におけるキャリアと研究実績
・グローバルメーカーにおけるリサーチ・マネージャー実績

■ITの専属パートナーとのチームワーク

・リサーチ専門のIT企業とのタッグ
・リサーチを理解したITエンジニアの高度なスキルで調査をシステム化
・グローバルなパネルシステムで世界各国ですばやく調査を実施



Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

グローバル調査のポイント

グローバルギャップによるミスを回避する

日本で考えた調査票をそのまま翻訳すると、設問の意味がズレたり、全く異なる質問になってしまう
ミスは、文化や習慣の違いを理解していることで回避できます。

■海外で見受けられるミス

●聞いてはいけないことを聞いてしまう
- 宗教や生活文化によるネガティブな言葉や色を知らずに使ってしまう

●概念が異なることを聞いてしまう
- 商品名は同じでもカテゴリーが異なることを気づかないまま質問してしまう
  例えばGreen Teaの味を質問（日本では緑茶だが東南アジアではフレーバー飲料）

●回答できないことを聞いてしまう
- 食文化や食習慣により見分けられない味の評価をしてしまう
  例えば酸っぱい食品がない国で酸味の評価をさせる（経験していない味覚の評価は不可）

■クロスカルチャーメジャメントのすすめ

✓調査を設計する前に商品の概念をチェック
- 缶コーヒーは東南アジアではエナジードリンクかコーヒー飲料か乳製品か

✓調査票を翻訳する前に言葉の概念をチェック
- 「香り」はFlavor、Smell、Odd?／「OK」はポジティブかネガティブか

✓できる限り概念調査を実施して概念差を測定
- 日本の抹茶は、米国では”抹茶or抹茶でない”を統計的に解析

Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

おもなプロジェクト実績（具体的な社名・組織名は省く）

ブランドをテーマとしたリサーチ

ブランド・エクイティ：機能性飲料、機能性食品、各種飲料

ブランド・コミュニケーション
- TVCM検証：機能性飲料、機能性食品、外食店
- メッセージ開発：酒造メーカー、機能性飲料、機能性食品、製薬会社、流通(小売サービス)

ブランド・トラッキング：機能性飲料、機能性食品

ブランド・イメージ：機能性飲料、機能性食品、各種飲料、製薬会社、機械メーカー

開発をテーマとしたリサーチ

コンセプト調査：機能性飲料、機能性食品、茶系飲料、中食店

嗜好調査
- 味覚開発：機能性飲料、機能性食品、茶系飲料、スピリッツ
- パッケージ開発：機能性飲料、機能性食品、食品メーカー

適合性調査
- 味覚受容性：機能性飲料、機能性食品、健康食品、外食店
- 味覚適合性：ビール、スピリッツ、機能性飲料、機能性食品、茶系飲料
- パッケージ適合性：機能性飲料、機能性食品、製薬会社

ビジュアル・クオリティテスト：機能性食品、外食店、製薬会社、機械メーカー、スポーツメーカー

Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.

主な取引先

日清製粉グループ
AsahiKASEI 旭化成ホームプロダクツ
三井化学株式会社
ZENSHO
House
LION
大陽日酸 The Gas Professionals
ぐるなび
森永乳業
清酒 白鶴
'TORAY' Innovation by Chemistry
HIBINO
エバラ
AEON
住友化学
SUNTORY
J-POWER
TOSHIBA
DENSO
SHISEIDO
東邦ガス
TEC 東芝テック株式会社
AISIN
KIRIN
京葉ガス KEIYO GAS
寶 宝酒造
Beisia
brother
JETRO
Johnson&Johnson
CAINZ

株式会社ドゥリサーチ研究所 DO RESEARCH INSTITUTE INC.
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町2丁目8-12 岸浪ビル5F
TEL:03-6826-1780 FAX:03-6826-1781

Copyright 2020 DO RESEARCH INSTITUTE INC.